



今後可能となるであろう十余のエレクトロニクス技術予測

(電気学会第1回通常会 明治21年6月26日)

- ◎ 電線によって、人々は同時に通信を送ったり、受けたりできるようになるだろう。
- ◎ 電線を用いずに遠い海を越えて自由に通信や通話ができるようになるだろう。
- ◎ 磁気的作用によって光を輸送し遠いところに住む人と互いに顔を合わせることにもできるようになるだろう。
- ◎ 音声を伝えることはもっと進歩して大阪・長崎どころか外国の地における演奏を東京にしながら聴くこともできるだろう。
- ◎ 水力を利用して電気に変えれば夜通し電気で街を明るくすることもできる。
- ◎ 電気によって動く鉄道・船・飛行機などが生まれ、それによって人々が出かける時代になる。
- ◎ 話や演説など全ての音声を機械の仕掛けによって記録できる方法も発明されるだろう。
- ◎ 地中や空中の変動を電気で観測していけば地震も前もって予知できる発明や、米や麦の出来栄さえ予知できる発明が生まれるかもしれない。

【志田林三郎顕彰会】

志田博士の功績を伝えるための情報発信、そして子どもたちの知的好奇心・探究心を育むことを目指し、平成22年に発足した「志田林三郎顕彰会」。

小学生の理科離れが叫ばれる中、理科や科学に興味を持ち、好きになる子どもを増やそうと、5年前から志田博士の誕生日である12月25日に市内小中学校理科部会の先生方と共に「多久市！おもしろキッズサイエンス」開催しています。

市内の小学生を対象とし、工作から実験までを行う楽しい内容に参加人数も年々増え、昨年は150人が集い集中する姿が見られました。

また、博士のことを身近に感じてもらうと小中一貫校に博士のレリーフを寄贈するなど、多久からこのような偉人がでたんだと、子どもたちの希望になればと取り組みられています。



志田博士の偉業を伝える

「志田林三郎顕彰会」

今年もあるよ！
多久市！おもしろキッズサイエンス

日 12月25日(日)
場 中央公民館

問い合わせ 生涯学習課 74-3241